

1年 国語「言葉を調べる」

光村図書 国語19ページ
参考図書利用指導

「言葉」を増やすことでより正確に意味を伝え、より深みのある表現ができるようになる。国語辞典・漢和辞典以外のさまざまな辞典、事典、図鑑、年鑑といった参考図書の特徴や使い方を学び、適切な場面で活用できるように利用指導を行った。また、使い方の定着を図るため、参考図書を活用する場面を他の教科でも設定した。

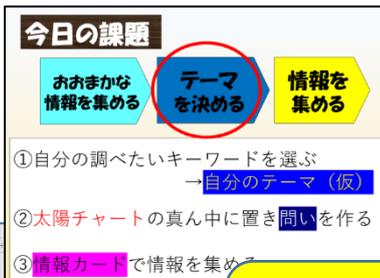
- ① 言葉を調べるツールとして「国語辞典」「漢和辞典」の使い方を学習する。
- ② 図書館でさまざまな参考図書の特徴を学び、実際に触れてみる。
- ③ 総合百科事典ポプラディア第三版の利用指導と、調べ方の実践を行う
- ④ 他教科での調べる活動や文章を書く場面で活用を促し、定着を図る。



②類語辞典、ことわざ辞典、古語辞典、百科事典、図鑑、年鑑などの参考図書を紹介します。辞書で調べた言葉をワークシートに記入し、班で紹介しあう。(光村図書 国語1「言葉を調べる 19ページ」「情報を集めよう 61ページ」)

③ポプラディアを学校図書館支援センターより借り受け、各班に1セットずつ用意する。

- ・基本的な使い方の説明。
- ・無料で使えるインターネット上の情報との違いや使い分けの説明。
- ・ポプラ社のホームページからワークシートをダウンロードし、班対抗のゲームを行う。



④研究のテーマ決めや、情報集めで、百科事典を活用する。



1年総合 白山市の魅力レポート

「腹が立った」
「心揺さぶら
にしみ入っ
感銘を受けた」
「いきどおりを
はらわたが煮え
憤慨した」

より自分の思いを正確に
伝えられる表現を探す→
類語辞典

「すこいと思った」
「より自分の気持ちの的確に
伝えるために、言葉を選ぶ」

④より適切な言葉選
びに類語辞典の活用
を促す。
(光村図書 国語1
「言葉を集めよう 80ペ
ージ」「語彙を豊かに
300ページ」)

読書感想文オリエンテーション

- ・生徒にとってなじみのない「類語辞典」「語源辞典」「方言辞典」などに実際に触れ、特徴を知り、使い方を学ぶことで、言葉への興味を膨らませている様子がみられた。
- ・百科事典は全く知識のない事柄について、ある程度のまとまった文章で基本情報が書かれており、テーマ決めやキーワード探しに役立った。中学生にとっては、タブレットを使った調べる学習の際も、参考図書を併用することが有効だと感じた。
- ・辞典を使って適切な言葉を探し語彙を増やすことで、文章表現に奥行がができ、説得力が生まれる。言葉を調べるだけでなく、楽しめるものとして参考図書を身近に感じ、活用してもらいたい。